

---

# I 予算編成の概況

---

1. 予算の特徴	2
2. 各会計予算の規模	3
3. 歳入予算（一般会計）	4
4. 歳出予算（一般会計）	6
5. 予算規模（一般会計・特別会計）の 推移	10

# 1

## 予算の特徴

豊かな地域社会の実現に向け、  
区民生活を支える事業を  
効果的に力強く進める予算



千代田区では、平成 29 年 4 月に住民基本台帳人口が 6 万人を超え、人口増加が続いています。特に、子どもや高齢者など、行政サービスを必要とする年齢層の増加が著しく、待機児童の解消や特色ある教育の充実、団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年を見据えた高齢者対策の推進などの課題を抱えています。

加えて、地球温暖化対策、首都直下型地震への備えなど、区民生活に密接に関わる課題にも確実に対応していく必要があります。

同時に、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、次世代に継承していくソフト・ハード両面でのレガシーの構築に向けた、より積極的な施策を展開していくことも求められています。

一方、歳入の大きな柱である特別区税収入は、引き続き、堅調に推移していくことを見込んでいますが、平成 30 年度税制改正においては、都市部と地方との収格差を是正するような地方消費税の清算基準の更なる見直しが行われました。今後も更なる改正が行われることが想定されるため、引き続き、国の動向を注視し、減収リスクに十分留意していく必要があります。

このような状況の中にあっても、区は、「ちよだみらいプロジェクト-千代田区第 3 次基本計画 2015-」がめざす安心して暮らせる「豊かな地域社会」の実現に向け、様々な取組みを更に加速させていく必要があります。

平成 30 年度予算は、「区民生活を支える事業を効果的に力強く進める予算」として、子育て支援の充実、質の高い教育の推進などの「次世代育成に関する取組み」、高齢者・障害者福祉の充実、健康づくりの支援などの「保健福祉に関する取組み」、危機管理対応力の向上、安全・安心なまちづくりなどの「危機管理に関する取組み」、地球温暖化対策、ヒートアイランド対策などの「環境対策に関する取組み」を重点事項に定め、編成を行いました。

## 2

## 各会計予算の規模

- 平成30年度の全会計の予算規模は、735億13百万円、前年度対比66億97百万円、10.0%の増となりました。全会計の当初予算の規模としては、過去最大となりました。
- 一般会計は、619億65百万円、前年度対比73億65百万円、13.5%の増となり、一般会計の当初予算の規模としては、過去最大となりました。なお、区民一人あたりの予算額は101万1千円(※)となりました。
- 国民健康保険事業会計は、54億42百万円、前年度対比△6億49百万円、△10.7%の減となりました。
- 介護保険特別会計は、44億51百万円、前年度対比△88百万円、△1.9%の減となりました。
- 後期高齢者医療特別会計は、16億56百万円、前年度対比68百万円、4.3%の増となりました。

(※)平成30年度一般会計予算額を平成30年1月1日現在の住民基本台帳人口61,269人で除して算出した額です。(千円未満は四捨五入しています。)

## 各会計予算の編成状況

(単位：百万円)

会 計 名	平成30年度	平成29年度	増(△)減額	増(△)減率
一 般 会 計	61,965	54,599	7,365	13.5%
国民健康保険事業会計	5,442	6,091	△ 649	△ 10.7%
介護保険特別会計	4,451	4,538	△ 88	△ 1.9%
後期高齢者医療特別会計	1,656	1,587	68	4.3%
全 会 計 合 計	73,513	66,816	6,697	10.0%

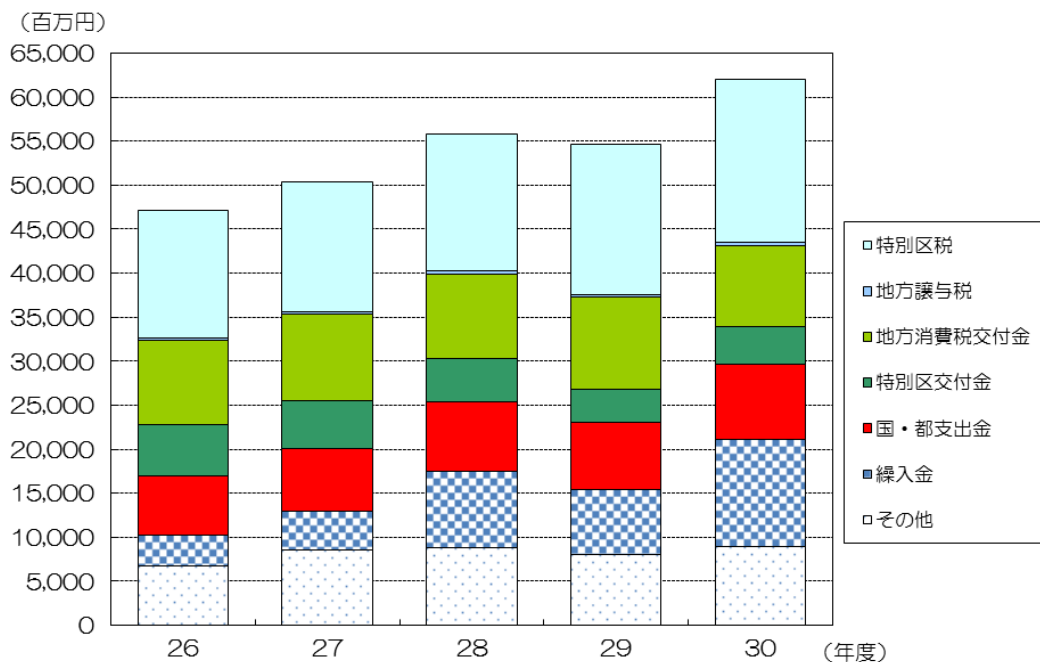
※千円単位で計算し、表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合があります。

### 3

## 歳入予算（一般会計）

- 特別区税は、前年度対比 14 億 68 百万円、8.6%の増となりました。このうち特別区民税は、納税義務者数の増などにより、前年度対比 17 億 50 百万円、13.3%の増、特別区たばこ税は、喫煙率低下等に伴う売渡本数の減により、前年度対比△2 億 87 百万円、△7.3%の減、入湯税は、前年度対比 3 百万円、122.1%の増となりました。
- 地方消費税交付金は、平成 30 年度税制改正の都道府県間の清算基準見直しなどにより、前年度対比△13 億円、△12.4%の減となりました。
- 特別区交付金は、「特別交付金」7 億円の増などにより、前年度対比 6 億 19 百万円、16.8%の増となりました。
- 分担金及び負担金は、「橋梁補修事業費負担金」6 億 6 百万円の増などにより、前年度対比 6 億 44 百万円、92.2%の増となりました。
- 国庫支出金は、「国宝・重要文化財等保存整備費補助金」△4 億 63 百万円の減はあるものの、「私立保育所等整備費補助金」6 億 12 百万円の増などにより、前年度対比 1 億 4 百万円、2.2%の増となりました。
- 都支出金は、「文化財保存事業費補助金」△1 億 18 百万円の減はあるものの、「私立保育所等整備費補助金」8 億 8 百万円の増などにより、前年度対比 6 億 97 百万円、24.4%の増となりました。
- 繰入金は、「社会資本等整備基金繰入金」43 億 13 百万円、「子ども・子育て支援事業基金繰入金」4 億 84 百万円の増などにより、前年度対比 48 億 83 百万円、66.5%の増となりました。

歳入予算額の推移



## 歳入予算一覧表

区 分 科 目	平成30年度予算額		平成29年度予算額		増(△)減額	増(△)減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 特 別 区 税	18,517,536	29.9	17,049,883	31.2	1,467,653	8.6
特別区民税	14,860,652	24.0	13,110,429	24.0	1,750,223	13.3
軽自動車税	29,604	0.0	28,102	0.1	1,502	5.3
特別区たばこ税	3,622,058	5.8	3,909,001	7.2	△286,943	△7.3
入湯税	5,222	0.0	2,351	0.0	2,871	122.1
2 地 方 譲 与 税	300,000	0.5	300,000	0.5	0	0.0
3 利 子 割 交 付 金	50,000	0.1	50,000	0.1	0	0.0
4 配 当 割 交 付 金	200,000	0.3	200,000	0.4	0	0.0
5 株 式 譲 渡 所 得 割 交 付 金	150,000	0.2	150,000	0.3	0	0.0
6 地 方 消 費 税 交 付 金	9,200,000	14.8	10,500,000	19.2	△1,300,000	△12.4
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	120,000	0.2	120,000	0.2	0	0.0
8 地 方 特 例 交 付 金	8,000	0.0	8,000	0.0	0	0.0
9 特 別 区 交 付 金	4,311,359	7.0	3,692,312	6.8	619,047	16.8
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	25,000	0.0	25,000	0.0	0	0.0
11 分 担 金 及 び 負 担 金	1,342,679	2.2	698,542	1.3	644,137	92.2
12 使 用 料 及 び 手 数 料	5,078,166	8.2	4,981,813	9.1	96,353	1.9
13 国 庫 支 出 金	4,932,955	8.0	4,828,540	8.8	104,415	2.2
14 都 支 出 金	3,550,145	5.7	2,853,244	5.2	696,901	24.4
15 財 産 収 入	321,807	0.5	262,646	0.5	59,161	22.5
16 寄 附 金	40,170	0.1	42,763	0.1	△2,593	△6.1
17 繰 入 金	12,223,943	19.7	7,340,479	13.4	4,883,464	66.5
18 繰 越 金	100,000	0.2	100,000	0.2	0	0.0
19 諸 収 入	1,492,831	2.4	1,395,917	2.6	96,914	6.9
歳 入 合 計	61,964,591	100.0	54,599,139	100.0	7,365,452	13.5

※入湯税は地方税法に基づき、観光の振興経費へ活用します。

※地方消費税交付金のうち、平成26年度の消費税法改正に伴う税率改定分については、社会保障費へ活用します。

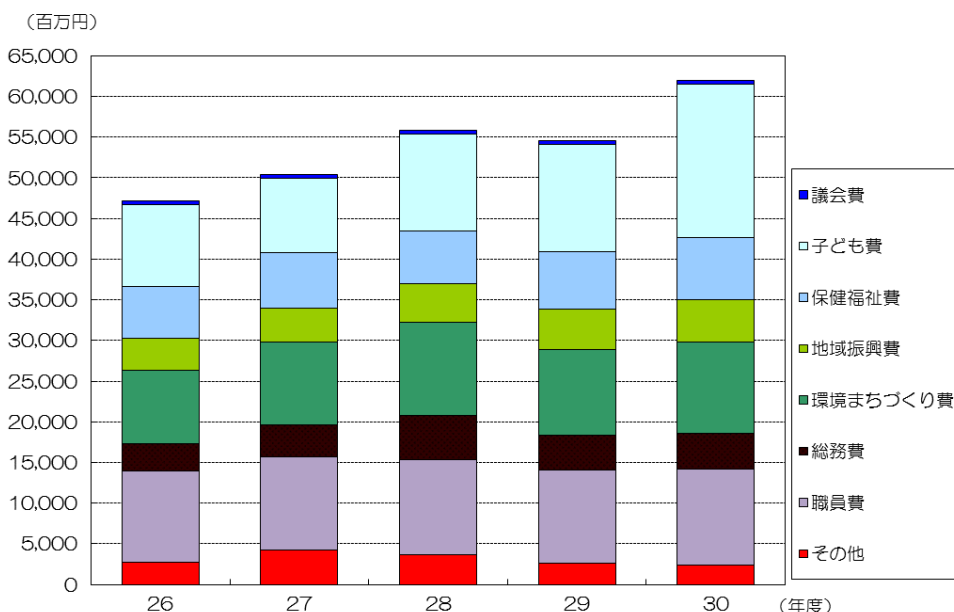
# 4

## 歳出予算（一般会計）

### （1）目的別歳出

- 議会費は、「議会情報システム」2百万円の増などがあるものの、「議会運営システムの整備」△24百万円の減などにより、前年度対比△26百万円、△5.3%の減となりました。
- 子ども費は、「九段小学校・幼稚園の整備」30億36百万円、「私立保育所等整備補助」17億44百万円、「私立保育所等運営補助」2億74百万円の増などにより、前年度対比56億57百万円、42.8%の増となりました。
- 保健福祉費は、「淡路町施設浴場等改修」2億51百万円、「精神障害者就労継続支援施設の整備・運営補助」88百万円、「介護施設等助成」66百万円の増などにより、前年度対比5億22百万円、7.4%の増となりました。
- 地域振興費は、「証明書コンビニ交付」1億24百万円、「喫煙所設置対策」86百万円の増などにより、前年度対比2億97百万円、6.0%の増となりました。
- 環境まちづくり費は、「(仮称)区立麴町仮住宅の整備」△3億22百万円の減があるものの、「橋梁の整備」10億86百万円、「ヒートアイランド対策の推進」76百万円の増などにより、前年度対比6億90百万円、6.6%の増となりました。
- 総務費は、「情報セキュリティの確保」32百万円の増などにより、前年度対比51百万円、1.2%の増となりました。
- 職員費は、定年退職者数の増による退職手当3億39百万円の増などにより、前年度対比3億95百万円、3.4%の増となりました。
- 公債費は、「特別区債元金償還金」△2億18百万円の減などにより、前年度対比△2億24百万円、△59.0%の減となりました。

歳出予算額（目的別）の推移

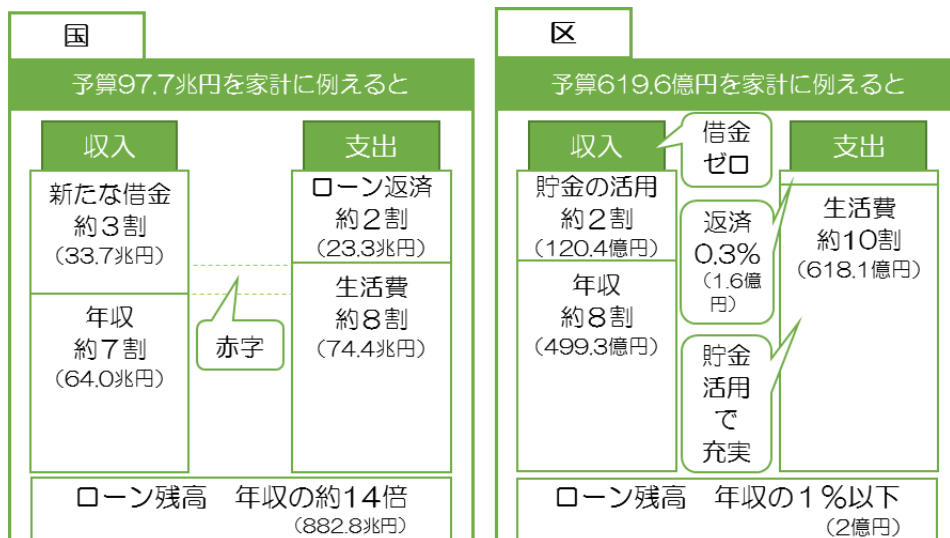


## 歳出予算一覧表（目的別）

区 分 科 目	平成30年度予算額		平成29年度予算額		増(△)減額 千円	増(△)減率 %
	金 額 千円	構成比 %	金 額 千円	構成比 %		
1 議 会 費	458,324	0.7	483,854	0.9	△25,530	△5.3
2 子 ど も 費	18,865,742	30.4	13,208,868	24.2	5,656,874	42.8
3 保 健 福 祉 費	7,617,868	12.3	7,095,923	13.0	521,945	7.4
4 地 域 振 興 費	5,251,937	8.5	4,954,468	9.1	297,469	6.0
5 環 境 ま ち づ くり 費	11,166,464	18.0	10,476,906	19.2	689,558	6.6
6 総 務 費	4,396,276	7.1	4,345,030	8.0	51,246	1.2
7 職 員 費	11,858,814	19.1	11,464,119	21.0	394,695	3.4
8 公 債 費	155,428	0.3	379,071	0.7	△223,643	△59.0
9 諸 支 出 金	2,043,738	3.3	2,040,900	3.7	2,838	0.1
10 予 備 費	150,000	0.2	150,000	0.3	0	0.0
歳 出 合 計	61,964,591	100.0	54,599,139	100.0	7,365,452	13.5

## 予算を家計に例えると（国との比較）

- 以下の図は、国と区の平成30年度一般会計予算を家計に例えて比較したものです。
- 国は、「生活費」を「新たな借金」に頼っており、「ローン返済」や「ローン残高」ともに多額になっています。
- 一方、区は、「借金」ゼロで「生活費」を賄っており、「ローン返済」、「ローン残高」ともに少額です。
- さらに、これまでの努力による「貯金」を活用することで、子育てに関する支出や高齢者に関する支出を充実させています。

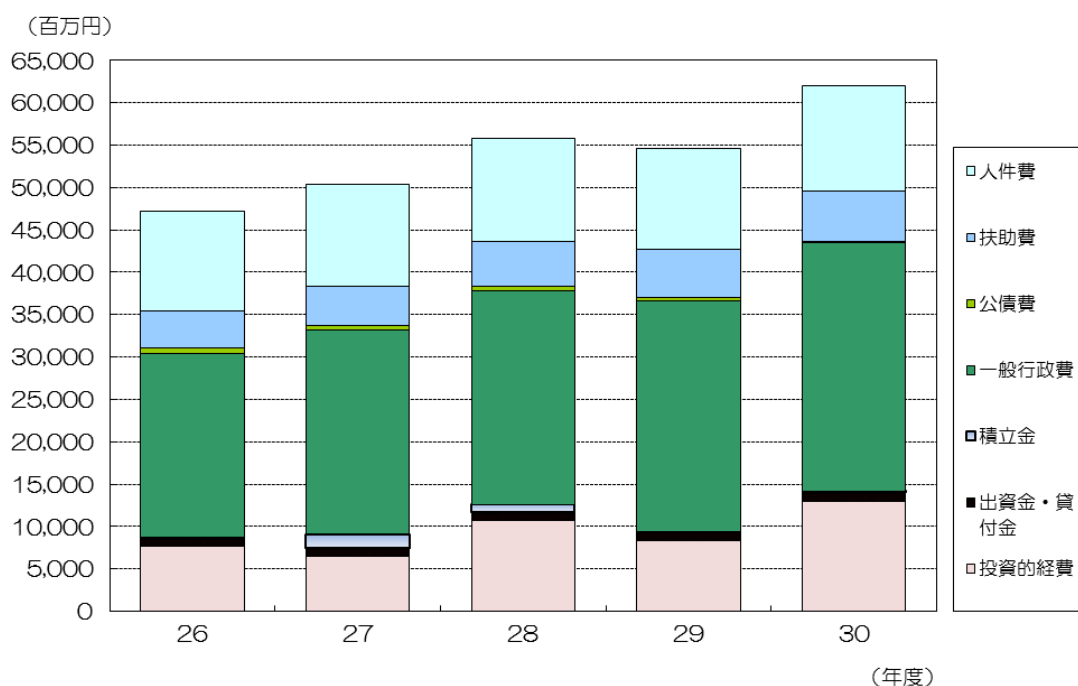


※表示単位未満を四捨五入しているため、合計額は一致しない場合があります  
 ※公債金を「新たな借金」に、基金繰入を「貯金の活用」に、それ以外の歳入を「年収」に例えています  
 ※国は国債費、区は公債費を「ローン返済」に、それ以外の歳出を「生活費」に例えています  
 ※国は普通国債残高、区は区債残高を「ローン残高」に例えています（平成30年度末の見込額）

## (2) 性質別歳出

- 義務的経費は、前年度対比 5 億 32 百万円、3.0%の増となりました。
- そのうち人件費は、定年退職者数の増による退職手当 3 億 39 百万円の増などにより、前年度対比 3 億 93 百万円、3.3%の増となりました。
- 扶助費は、「私立保育所等運営補助」1 億 76 百万円、「居宅訪問型保育事業」41 百万円、「障害福祉サービス」41 百万円の増などにより、前年度対比 3 億 62 百万円、6.4%の増となりました。
- 公債費は、「特別区債元金償還金」△2 億 18 百万円の減などにより、前年度対比△2 億 24 百万円、△59.0%の減となりました。
- 一般行政費は、前年度対比 21 億 96 百万円、8.1%の増となりました。
- そのうち物件費は、「証明書コンビニ交付」1 億 24 百万円の増などにより、前年度対比 1 億 98 百万円、1.3%の増となりました。
- 補助費等は、「私立保育所等整備補助」17 億 94 百万円、「私立保育所等運営補助（認可保育所）」75 百万円の増などにより、前年度対比 19 億 39 百万円、21.3%の増となりました。
- 繰出金は、「国民健康保険事業保険基盤安定繰出金」10 百万円の増などにより、前年度対比 3 百万円、0.1%の増となりました。
- 出資金は、「さくらまつり」80 百万円の増により、前年度対比 80 百万円、皆増となりました。
- 投資的経費は、「(仮称) 区立麴町仮住宅の整備」△3 億 24 百万円の減はあるものの、「九段小学校・幼稚園の整備」30 億 23 百万円、「橋梁の整備」10 億 86 百万円、「北の丸公園周辺地域整備の推進」7 億 53 百万円の増などにより、前年度対比 45 億 58 百万円、54.3%の増となりました。

歳出予算額（性質別）の推移



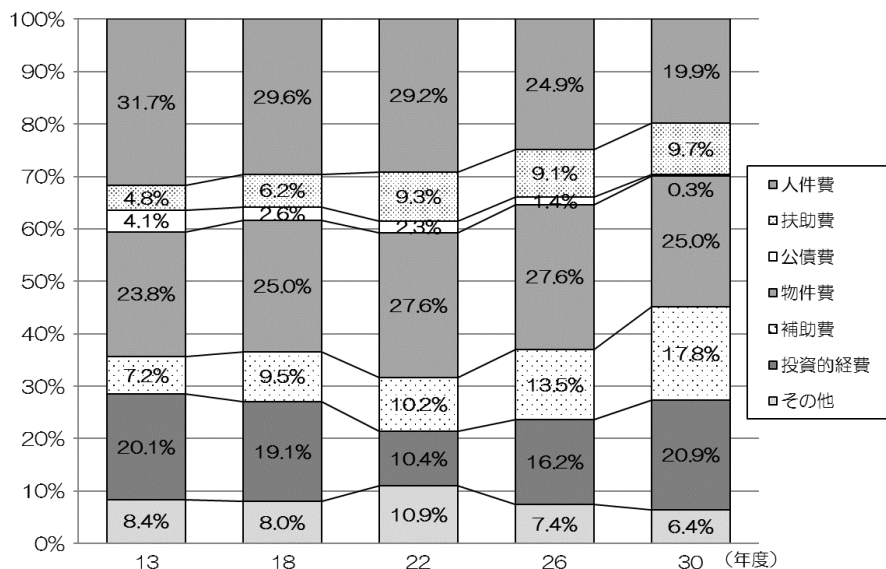


## 歳出予算一覧表（性質別）

区 分 科 目	平成30年度予算額		平成29年度予算額		増(△)減額	増(△)減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
義務的経費	18,502,095	29.9	17,970,575	32.9	531,520	3.0
人件費	12,321,319	19.9	11,927,950	21.8	393,369	3.3
扶助費	6,025,348	9.7	5,663,554	10.4	361,794	6.4
公債費	155,428	0.3	379,071	0.7	△223,643	△59.0
一般行政費	29,369,960	47.4	27,174,286	49.8	2,195,674	8.1
物件費	15,521,928	25.0	15,324,001	28.1	197,927	1.3
補助費等	11,029,726	17.8	9,090,579	16.6	1,939,147	21.3
繰出金	1,982,662	3.2	1,980,111	3.6	2,551	0.1
その他	835,644	1.3	779,595	1.4	56,049	7.2
積立金	61,076	0.1	60,789	0.1	287	0.5
貸付金	1,003,575	1.6	1,003,575	1.8	0	0.0
出資金	79,882	0.1	-	-	79,882	皆増
投資的経費	12,948,003	20.9	8,389,914	15.4	4,558,089	54.3
歳出合計	61,964,591	100.0	54,599,139	100.0	7,365,452	13.5

※「その他」は、維持補修費、予備費です。

## 歳出予算（性質別）構成比の推移



※「その他」は、繰出金、維持補修費、積立金、貸付金、予備費です。

## 5

## 予算規模（一般会計・特別会計）の推移

各会計当初予算額の年度別推移は、下表のとおりです。

（単位：百万円）

年度	30	29	28	27	26
一般会計	61,965	54,599	55,858	50,411	47,169
国民健康保険事業会計	5,442	6,091	6,104	5,982	5,117
介護保険特別会計	4,451	4,538	4,551	4,363	4,127
後期高齢者医療特別会計	1,656	1,587	1,538	1,533	1,454
老人保健特別会計	—	—	—	—	—
合計	73,513	66,816	68,050	62,289	57,867
対前年度伸び率	10.0%	△1.8%	9.2%	7.6%	1.2%

年度	25	24	23	22	21
一般会計	46,755	46,250	48,918	44,433	48,565
国民健康保険事業会計	5,097	5,001	4,898	4,392	4,649
介護保険特別会計	3,868	3,671	3,386	3,404	3,240
後期高齢者医療特別会計	1,443	1,551	1,444	1,451	1,271
老人保健特別会計	—	—	—	40	49
合計	57,163	56,472	58,646	53,720	57,774
対前年度伸び率	1.2%	△3.7%	9.2%	△7.0%	7.2%

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合があります。

※老人保健特別会計は、老人保健医療制度の終了により、平成22年度をもって廃止となりました。

※平成24年度予算は、同時補正予算を含む数値です。